

## 会 議 録

### 1 会議名

令和5年度 第2回津有区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

#### (1) 自主的審議事項（公開）

・津有区の特長を生かした地域活性化策について

○津有区パンフレットについて

### 3 開催日時

令和5年5月29日（月）午後7時30分から午後8時25分まで

### 4 開催場所

津有地区公民館 大会議室

### 5 傍聴人の数

1名

### 6 非公開の理由

なし

### 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：青木雄司、梅川康輝、大滝英夫、千代金治、中島 功（副会長）、  
藤本孝昭（会長）、古川勝夫、古川 仁（欠席2名）

・事務局：中部まちづくりセンター 小林所長、井守副所長、渡邊係長、山崎主事

### 8 発言の内容（要旨）

#### 【山崎主事】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

#### 【藤本会長】

・会議録の確認者：中島副会長

次第2議題「(1) 自主的審議事項」 「津有区の特長を生かした地域活性化策につい

て」の「津有区パンフレットについて」に入る。事務局から説明を求める。

#### 【山崎主事】

本日の開会前に開催した、「第2回津有区パンフレット作成委員会」でのグループワークの結果について、各リーダーから報告していただきたい。

#### 【藤本会長】

それでは先ほど行った「第2回津有区パンフレット作成委員会」の振り返りを行う。各グループのリーダーから、会の様子について報告願う。

まず、Aグループから報告する。

パンフレット全体を通して、地図がたくさんあるので、Bグループで作成するまち歩きマップの中に、まとめて最低限のことを入れてはどうかという話があった。例えば、Aグループに施設を紹介するページがあるが、地図上で位置を説明するのではなく、どんな施設かという説明にしてはどうかということになった。

生活基盤のページに関しては、どこにどんな町内があるのか、さらに津有区はいくつかの町内が集まって1区、2区と分けられているが、知る人はあまりいないので、それを紹介してはどうかということ。また、南部地区と北部地区の境界線が分かるような地図があればよいのではないか。

人口については、人口ピラミッドの形で示す手もあるという話が出た。あまり細かい数字は入れずに、どこにどの町内があるかが分かる程度の地図が必要という話になった。

そう考えていくと、津有区全体を鳥瞰するマップを最初に示すのも一つの手ということで話題になった。これはまた皆さんから協議いただきたいと思う。

風俗習慣のページについては、おおむねたたき台通りで意見がまとまったが、特に八社五社については、言葉を知っていても具体的に何をやるのか分からないという話になったので、その辺の詳しいことを載せた方がよいということになった。

季節の食や郷土料理については、ちまき、笹団子、笹餅の話が出た。みょうがの葉で押し寿司を作るということもあるそうなので、その辺りも載せられたらと思う。

昔の遊びは特に無かったが、この辺では「南葉山に雪男が出ると種まきをする」という言い伝えは共通だという話になった。方言については冊子があるようなので、代表的な方言をいくつか紹介することにした。

生活基盤のページは少し整理をする必要があるが、風俗習慣のページにあるものは

全部入れたいという話になった。

次に施設のページについては、先ほど申し上げたとおり、ここでは地図は使わないということになった。

それから、上雲寺に歴史に詳しい方がいらっしゃるそうなので、話を聞けたらと思っている。また、区内のお寺と神社の数も調べられたら載せたいという話になった。

それから公民館活動については、特徴的な活動を紹介して、多くの皆さんが公民館活動に参加できるようにしたいという話になった。

地域の団体についても、例えば戸野目公園にゲートボール運営委員会があるなら、ファームセンターの向かいのゲートボール場にも運営委員会があるのではないかという話や、スポーツ少年団のバレー、幼年野球、それからミニバスもあるはずという話も出た。

そして小学校の校歌については、Cグループの歴史のページで紹介してはどうかと思っている。

また、かつて上雲寺小学校の運動会は区民運動会を兼ねていたということなので、そのようなことも紹介できればと思っている。

Aグループは以上である。

#### 【青木委員】

次にBグループの報告を行う。

Bグループでは、津有の魅力、仕事、その他（農業・産業）、まち歩きマップを担当している。まち歩きマップは中学生にお願いしているが、先ほども話が出たように地図が多すぎるので、統一した形にした方がよいということになった。

津有の魅力については、まず左側のページに主に自然を中心とした写真、そして下の半分が、地形や街並みの特色・文化ということで、雁木通り、保阪邸を項目立てしてある。

自然や風景の写真については、子どもたちからも妙高山や田んぼというキーワードがかなり出ていたので、妙高山から金谷山にかけての山脈（会長がドローンで撮影）、そして何ととっても津有と言えば田んぼの写真を載せたいと思っている。その2つを入れれば、あとは十分ではないかということになった。

そして特色・文化は、難しいところだが、雁木通りと保阪家のこの2つでいくことになった。ただし内容については、例えば保阪家であれば、今に繋がるという意味で

高田城址公園のお堀の蓮を植えたとか、そういった時代の話を中心にしたらよいということになった。

次に産業関係については、津有は農業がメインの地域なので、半分の紙面を使って農業の現状について主に農協さんの方で記事あるいは資料等を用意していただく形で考えている。子どもたちの話の中でも、田んぼの値段や品種など、田んぼにまつわる質問も出ていたので、丁寧に紹介したいと思っている。

続いて産業関係のグラフについては、町内ごとのデータを出しても意味がないので、ここでは津有区全体の1次産業・2次産業・3次産業のグラフで、令和2年と50年前の国勢調査とを比較できるような縦棒グラフを1つ入れたいと思っている。

もう1つは、津有区の業種ごとの事業所数をハローページで調べられたので、そのグラフを載せたいと思っている。

最後に、区内の個々の事業所を紹介するのであれば、何か基準がないと問題になるので、市のメイドイン上越の認証品で津有区に関わるものを記載すればよいということになった。

Bグループは以上である。

#### 【中島副会長】

Cグループでは、全体的にこの割り付けで良いかということを確認した。

津有の偉人に関しては、今4人の方が上がっているが、ここに保阪さんを加えて、高田城址公園の堀に蓮を植えたエピソードを紹介したいと思っている。これについては、津有の文化遺産めぐりに詳しく書いてあるので、参考にしたい。

その他に津有の歴史のエピソードとして、地震と川浦戦争を載せた。戦争があったことを知らない方もいらっしやったので、載せてよかったと思っている。

越後国頸城郡絵図については、まだ決まっていない。

#### 【小林所長】

補足する。使用する絵図の候補が2つあり、どちらが相応しいのかということについては事務局で預かることとした。その地図の信憑性や歴史的価値と照らし合わせ、どちらを採用するかを決めるということになった。

#### 【中島副会長】

価値とすればもちろん頸城郡絵図の方が高く、国の重要文化財なので、こちらを希望している。位置関係が分かるように、右側に太く蛇行して書いてあるのは関川だと

か、この中に書いてある文章を現代語訳で載せられたらというような話も出ている。この古地図から現代にどのように発展させていくかというのは、今後の検討課題になっている。

次の前島密のページについては、津有区内の学校に前島密の書があることや、前島が小学校に 300 円寄付したという話も聞いているので、学校と前島密の関わりを紹介できればと思っている。

また、全体的なタイトルを決めてはどうかという意見もあった。

そして功績を記載するなら、まず時代的な順番を確認した方がよいということで、文字だけでなく、オーレンプラザのパネル展のようにグルグルと取り囲むようにして掲載するやり方もあると提案があった。また、お母さんの関係については、このままで良いとの意見があった。

#### 【小林所長】

補足する。Cグループでは、これからの進め方として、津有村の歴史を深く掘り下げるチームと前島密の功績を掘り下げるチームに分担しようという話になった。

#### 【藤本会長】

今ほどの各グループの報告に対して、質問等あるか。

地図については共通して意見が出ていた。

Aグループでは、最初の津有区の概略の地図は残し、施設の地図は無くしてマップの中に入れるという話になった。

Bグループでは、各事業所についてはメイドイン上越に限り掲載し、地図はなくてもよいという話があった。まち歩きマップについては、現在文化遺産巡りの資料から代表的な場所が入っているので、この辺りをどうするかという調整が必要になってくる。

Cグループはまた違った意味で津有の昔の地図を掲載している。これは少し質が違うが、地図についてはもう少し精選するという方向でよいか。ほかに意見等あるか。

#### 【梅川委員】

私の集落の近くに櫛池川という川がある。それも入れてはどうか。

#### 【小林所長】

事務局のたたき台を示した時に櫛池川を載せられなかった。この後精査していく中で、やはり津有地区と三郷地区を分ける櫛池川は入れたいと思う。

**【藤本会長】**

地図に関しては今ほど説明された方向性で考えることとしてよいか。

さらにほかの点ではどうか。Aグループの学校行事というところに、戸野目小学校と上雲寺小学校の校歌が同じだったことが紹介されているが、これはCグループの前島密と学校との関わりのところ載せることができれば、Aグループの方はカットできる。そんな形で整理してよいか。

**【中島副会長】**

それについては検討する。Cグループはあくまでも前島さんとの関わりということなので、その辺をよく整理してから判断する。

**【藤本会長】**

逆に言うと、それぞれの学校には、前島さんにゆかりのあるいろいろな書が残っているし、先ほど雄志中学校の校長先生から聞いたのだが、全国にある胸像はそれぞれ由緒があって作者が分かるのに、学校にある前島密のブロンズ像は、誰が作ったのか分からないということであった。資料を頂いたので、事務局経由で皆さんに共有したいと思う。ゆかりのものが学校にあると子どもたちにもインパクトがあると思う。

ほかにあるか。

**【梅川委員】**

田植えの時期に、雪男だけではなくて、妙高山の跳ね馬が農耕期の目安みたいな言い伝えがあったと思う。

**【藤本会長】**

場所によってよく見える地域と見えない地域があるが、ここは妙高山も火打山も南葉山も見える地域なので、頸城連山が見える場所として非常に風光明媚なところだと思う。その辺りの関連で紹介することは問題ないと思う。

**【小林所長】**

今のことについて審議いただきたい。南葉山の雪男については、上越市史の中で津有の言い伝えとして、種蒔きを始める一つの目安になっているという記載があった。確かに、跳ね馬の言い伝えもあるのかもしれないが、できれば根拠と紐づけて記載したいと思っている。

**【中島副会長】**

そこまで神経質になると、その写真も必要になる。

【藤本会長】

書き方の問題であって、例えば「広く妙高山に跳ね馬が出ると種蒔きをされると言われていますが、津有では南葉山に大男が出ると種蒔きをするという言い伝えがあります」という言い方にすれば、片方は根拠がなくても、一般にそう言われているという書き方ができる。あとはスペースの問題があるので、その中で検討するということがどうか。

【小林所長】

承知した。

【藤本会長】

一般論は一般論として書けば問題にならないと思う。

そういう意味でいうと、方言は津有だけでなく結構広く使われているが、直江津に行くときそういう言い方をしていないと先ほど話題になった。方言に関しては根拠がないかもしれないが、せっかくだから子どもたちのために、津有ではこんな言葉を使っていたということを残す意味合いでは、言っていたことは事実なので、載せたいと思っている。

【千代委員】

跳ね馬の件に関しては、事務局で何か調べられるか。

【小林所長】

それについては、会長が先ほどおっしゃったとおり、書き方の工夫で対応可能と思っている。

【千代委員】

知りたいのは、跳ね馬がどこの地域の方で多く伝えられているのかということである。多分妙高市の方だと思う。

【小林所長】

何かしら探すことができれば千代委員にお伝えする。

【藤本会長】

具体的に書かれたものが出てきたときにどうなのかという視点は大事だと思うので、共通理解しておきたい。

(よしの声)

【小林所長】

事務局から提案がある。

本日の会議で出た意見をなるべく吸い上げて案をお示しし、皆さんから叩いていただき、ゴールに近づいていきたいと思っているが、やはり全ての意見を紙面に落とすことはなかなか難しい作業だと思っている。もしかしたら 100 点は取れないかもしれないが、100 点を目指して皆さんで考えたということが、地域活性化のために本当に意義があることだと思っている。

パンフレットでは、前島密のキャラクターを使って物語的に進めていくことを考えている。Cグループで話が出たように、前島さんと津有の繋がりというのは、実は郵便の父としてお年を召された前島さんではなく、年少期をここで過ごした前島さん、つまり「ヤング前島」が津有との繋がりではないかという話になった。皆さんよくご承知の切手にある前島さんではなく、若い時の前島さんをモチーフにしたキャラクターを作りたいとCグループでは話し合った。これについて、協議会の皆さんに諮りたい。

**【藤本会長】**

それはこの後審議する。

本日は各グループで記載する内容について協議した。それぞれのグループの協議結果に従うということでよいか。

(よしの声)

次に、所長から説明のあったストーリーテラーの話に移る。

登場するキャラクターを前島密のみにするという事は、先ほど作成委員の皆さんからもご理解いただいた。Cグループからの提案として、年を取った前島さんではなく、若い頃の前島さんをストーリーテラーにしたいということである。意見はあるか。

**【青木委員】**

津有にいたのは本当に子どもの頃だけである。去年の献碑祭で紹介されていた青年の頃のイメージでよいか。

**【小林所長】**

そうである。

**【青木委員】**

それには賛成する。

**【藤本会長】**



後は事務局に一任ということでよいか。

(よしの声)

キャラクターのストーリーテラーについては、事務局の考える方向で進める。

その他、会議全体を通じた感想や今後の進め方について、意見や質問等あるか。

【千代委員】

古地図が2つあると言っていたが、どちらにするかはこちらに諮るのか。

【小林所長】

Cグループの所管なのでCグループで決める。

【千代委員】

私の要望だが、近年に近い津有村の地図はあるか。

【小林所長】

地図の変遷を比較するのはCグループでも考えているが、紙面の問題もある。広く皆さんに示し知らせたい内容は紙で、それ以上に深い情報の場合は二次元コードでの対応を考えている。その辺を含めてCグループにお任せいただいてよいか。

【千代委員】

はい。

【藤本会長】

こういうもの載せる時は人権の問題が関わってくるので、その辺の配慮だけは十分していただきたい。

【小林所長】

古地図を掲載する際には、解説文を加えることとする。

【藤本会長】

これからも大変な作業になると思うが、事務局から整理をしていただき、新たに提案をさせていただいて、次回協議していくことになる。

以上で次第2 議題「(1) 自主的審議事項」「津有区の特長を生かした地域活性化策について」の「津有区パンフレットについて」を終わる。

最後に次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」に入る。

・次回の日時：6月26日（月） 第3回パンフレット作成委員会：午後6時

第3回地域協議会：午後7時半

・会場：津有地区公民館 大会議室

【井守副所長】

- ・地域自治の推進に向けたヒアリング調査の協力について説明

【藤本会長】

その他、何かあるか。

(発言なし)

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690 (直通)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。